

PTA会長だより 6月号

平成20年6月
神宮前小学校PTA
会長 椎名伸吉

今春の新1年生は前年比2・5倍で、9年ぶりの30人台となりました。生まれ変わった神宮前小学校に対する関心がどんどん高まっています。各学年への転入生もあり、校内は子供たちの明るい活気が満ちあふれています。

しかも昨年の神宮前国際交流学級併設に続いて、今年度は文部科学省から『我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル校』と、渋谷区の研究推進校にもダブル指定という快挙も実現。大きな上昇気流の勢いに乗っています。前向きの勢いが子供たちに良い影響を与えないはずがありません。

一時、サーバーの切り替えなどで本校のホームページの更新がストップしていましたが、再び渋谷区内の小学校で、更新回数がトップになりました。ぜひホームページを通じて神宮前小学校の雰囲気を感じ取っていただきたいと思います。

* * *

さて、5月22日にPTA広報誌の取材で、本校常勤栄養士の平岡先生にお話しをうかがいました。渋谷区内の小学校で栄養士が常駐しているのは約半数に過ぎず、この点でも本校は恵まれています。

また、最近給食費を払わない家庭が増えていることが、大きな社会問題になっています。経済的に生活が極めて苦しく、払うに払えないというケースは別として、立派な家に住んで外車に乗っているのに払わないというような親が多くなっていることは、給食制度の根幹を揺るがす大きな問題です。

幸い、取材をした5月22日時点で本校は給食費不払いはゼロで、神宮前小学校の保護者の皆さまの意識の高さが表れています。

家計困窮など正当な理由が無い給食費不払いに対して、全国各自治体では保護者に給食申込書を提出させる契約制にしたり、督促に応じなければ保護者の給料差押えというところも出てきています。

給食費を払わない家庭の子供に対して、ただちに給食を止めるというわけにはいきません。しかし、その子の給食は、他の家庭が払っている給食費でまかなうことになるので、身勝手な不払い、滞納はただちに他の保護者に迷惑をかけることとなります。不払い者が増えると、給食予算に大きな穴があき、質や量の低下、給食費の値上げにもつながります。PTAとしても、無関心ではられません。

渋谷区内でも地域によっては給食費不払い者が目立つ小学校があるそうですが、幸い神宮前小学校は5月22日現在、不払い者ゼロです。

子供たちのために、この良き伝統を保っていただきたいと願っています。